

## Word のタブ・均等割り付け・網掛けの学習（更新）

※word のタブ・均等割り付け・網掛けを使って見やすい案内を作成

ナルクパソコン教室テキストの No. 489 右欄の「元データ.docx」をダウンロードし、それを編集し、「完成サンプル」の様に仕上げます。

元データ

『七夕飾り造りの制作を楽しむ』オンライン講座

講師は茂原に住んで 50 年、商工会の茂原太郎が務めます。また、七夕飾りの師匠である織姫彦星氏の素敵なゲストもお招きします。受講は 1 回のみでも可能です。受講者はアーカイブ動画もご覧いただけますので、万が一スケジュールが合わなくなっても安心です。

講師 > 茂原太郎（七夕づくり 30 年）

配信形式 > Zoom（受講回のアーカイブ動画もご覧いただけます）

受講料 > 1 回のみ：1,000 円＋税 全 4 回：4,000 円＋税

お申し込み > 茂原太郎のオンラインショップよりチケットをご購入ください

『七夕飾りの制作を楽しむ』

オンライン講座

### ① 『七夕飾り造りの制作を楽しむ』オンライン講座

②

講師は茂原に住んで 50 年、商工会の茂原太郎が務めます。また、七夕飾りの師匠である織姫彦星氏の素敵なゲストもお招きします。受講は 1 回のみでも可能です。受講者はアーカイブ動画もご覧いただけますので、万が一スケジュールが合わなくなっても安心です。

③

☆ 講師  
☆ 配信形式  
☆ 受講料  
☆ お申し込み

④

> 茂原太郎（七夕づくり 30 年）  
> Zoom（受講回のアーカイブ動画もご覧いただけます）  
> 1 回のみ：1,000 円＋税 全 4 回：4,000 円＋税  
> 茂原太郎のオンラインショップよりチケットをご購入ください

⑤

『七夕飾りの制作を楽しむ』

オンライン講座

完成サンプル

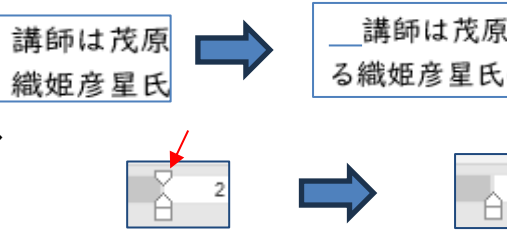
# Word のタブ・均等割り付け・網掛けの学習 (更新)

## ① 1行目の表題のフォントサイズの指定と中央揃え

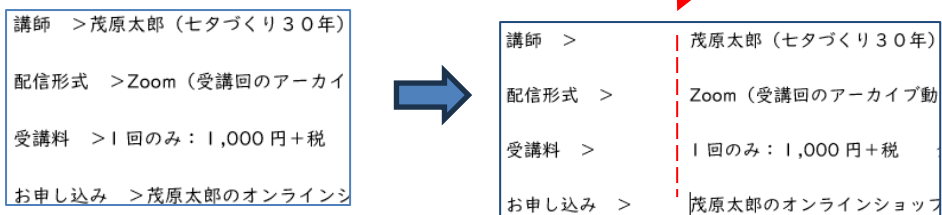
1行目の“『七夕飾り造りの制作を楽しむ』オンライン講座”のフォントサイズを18にして中央揃え」とし、改行を2回入れます。

## ② 文章1行目の文頭の字下げの学習



次の、“講師は～安心です”を選択して、ルーラー左の「1行目のインデント」を右へドラッグして一文字右へずらします。




## ③ タブ位置を使った左揃え学習

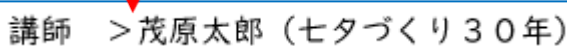


“講師 > ～ チケットをご購入ください”までの4行を選択し、

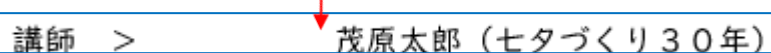
・左上のタブセレクター  を何度かクリックし「左揃えタブ」  にします。

・上部ルーラーの12の下をクリックし、  
左揃えタブのマークがつくことを確認します。 

・カーソル位置を“>”の右側をクリックし設定し、TAB キーを押します。



>の右側が設定したタブ位置12のところへシフトします。



・同様に、残りの3行もカーソル位置を>の右に設定し、TAB を押します。


>の右側の行頭がタブ位置12のところ揃いました。

## ④ 均等割り付けの学習



・“>”の左側の文字を5文字幅に揃える。

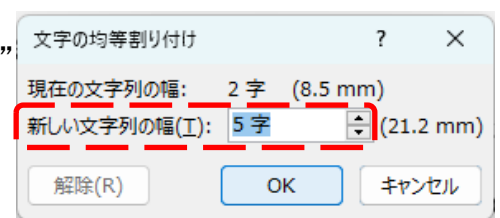
“>”左側の文字を選択し段落グループの“均等割り付け”

 を選び、開いたBOXで“新しい文字列の幅”を5文字にし、OKとします。

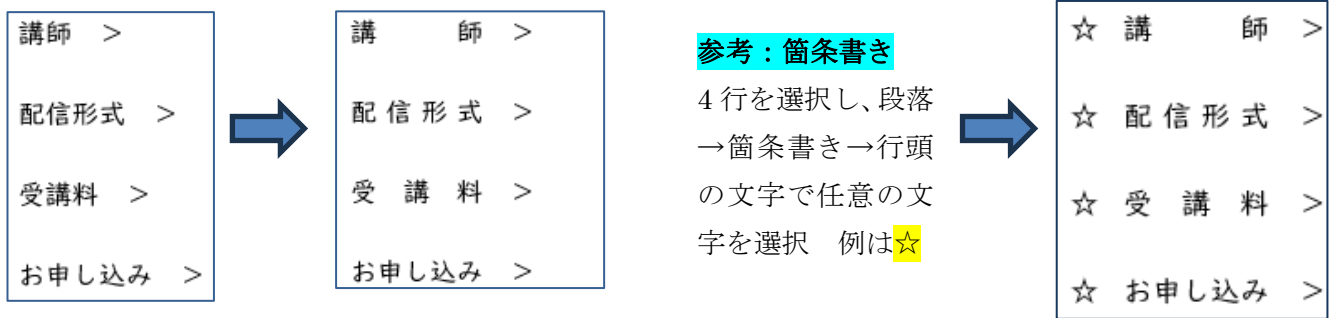
 が  となります。

他の3行も同様に1行ずつ均等割り付けを行います。

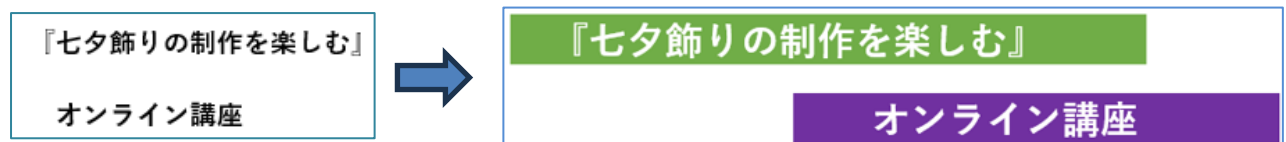
4行とも“>”の左文字数幅が（次ページのように）5文字分の長さに揃いました。



## Word のタブ・均等割り付け・網掛けの学習（更新）



### ⑤ 「網掛け」、「レイアウト：左インデント、右インデント」の学習



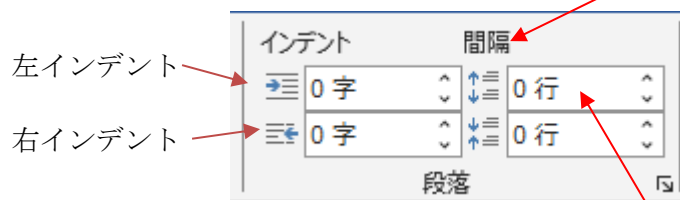
#### <網掛けの学習>

- ・七夕～の行を選択し、「デザイン」→「ページ罫線」→「網掛け」→「背景の色」→「緑」  
『七夕飾りの制作を楽しむ』
- ・同様にオンライン～の行も「紫」とし、フォントサイズと色を2行とも24と白とする。



の

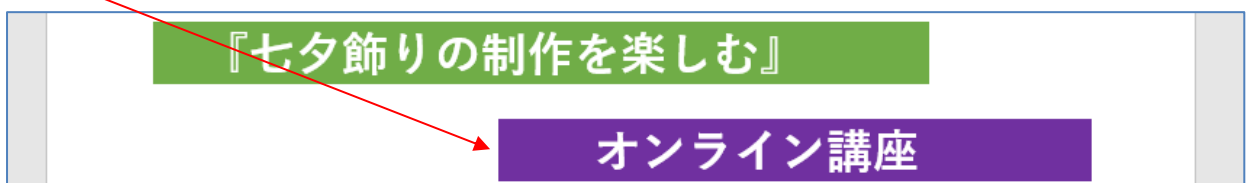
#### <レイアウト→左インデント、右インデント、間隔の学習>



- ・『七夕飾り～』の行をクリックし、「レイアウト」「左インデント0字」「右インデント8字」とする。



- ・同様にオンライン～の行も「左インデント17字」「右0字」とし、間隔を「1行」とする。



以上